

さいたま市

第4号

平成20年3月1日発行

明るい選挙

推進協議会たより



第2回明るい選挙啓発標語最優秀賞作品

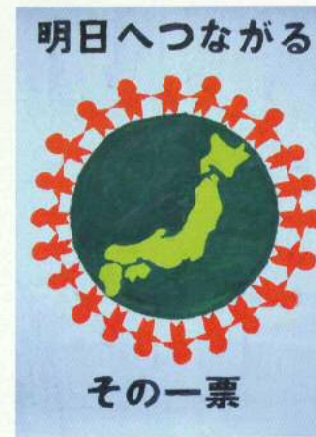
投票で 反映させよう その意見

選挙啓発ポスターコンクール

明るい選挙の推進や投票参加を呼びかける内容をテーマに、市内の小・中・高等学校の児童・生徒の皆さんから選挙ポスターを募集したところ、平成19年度は小学生203点、中学生87点の応募がありました。
審査の結果、次の10点が入選作品に輝きました。



三橋小学校 5年 森山 航平



与野西北小学校 5年 白石 綾乃



芝原小学校 5年 尾島 優平



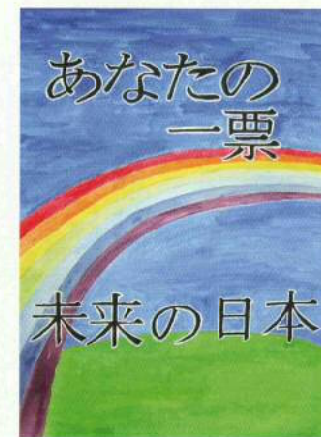
沼影小学校 6年 高橋 京佑



慈恩寺小学校 6年 中島 彰規



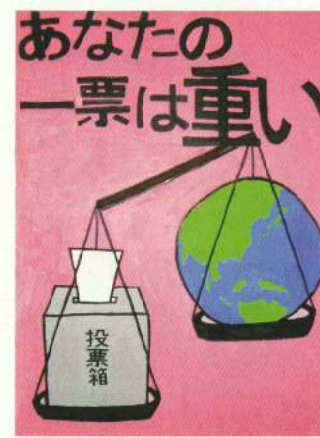
春里中学校 1年 高岸 瑞季



春里中学校 1年 夏目 美沙



土屋中学校 2年 齋藤 陽美



大宮北中学校 2年 矢部 絢子



木崎中学校 3年 清水 実咲

募集中

さいたま市青年選挙サポーターの会「E-Rail さいたま」では18歳から30歳までの方で選挙啓発活動のできる会員(ボランティア)を募集しています。
詳しくは、さいたま市選挙管理委員会事務局へ。
電話 048-829-1773

E-Rail さいたま

■さいたま市明るい選挙推進協議会広報委員 ○加藤 路子 ○木野 治代 脇田 保 高橋とみ子 小松佳津江
保柄 忠夫 金子 行甫 井原 トシ 峯 光子 加藤 秀子 相原 悦子 ●…委員長 ○…副委員長

「さいたま市における明推協組織と啓発活動の活性化を目指して」

市区合同明るい選挙推進協議会啓発研修会(概要)

日時 平成20年1月18日(金)
場所 大宮区役所6階大会議室

「明推協って聞いたことも無い。」「どんな活動をしている団体なの?」「何かの政治団体なの?」「明推協の選挙推進協議会が行ったアンケート調査では、「明るい選挙推進協議会(明推協)の知名度は30%前後となっております。市民の方に私たちの活動はあまり周知、理解されていないというのが現実です。」

そこで、「一人でも多くの人々に明推協活動を理解してもらい広めるためには」というテーマでグループワークによる話し合いを行い、さいたま市における明推協組織と啓発活動の活性化を目指すことを目的に、今年度の市区合同明るい選挙推進協議会啓発研修会が開催されました。



当日は、担当の研修委員会委員と各区推進員の計41名の参加があり、5つのグループに分かれ、話し合いが行われました。最初は、初対面できこちなかった参加者も自己紹介、役割分担、グループ名の決定などが終了する頃には、すっかり打ち解け、①問題点の抽出、②問題点に対する解決策、③解決に向けての具体的な活動案について、90分間、活発な話し合いが行われま

した。休憩後、各班から発表があり、具体的な活動案として、左表のようにユニークな意見がだされました。

発表終了後、「明推協の選挙推進協議会の松永事務局長より総括助言として、

①自治会への働きかけは非常に重要である。

②サッカー選手との啓発活動は、さいたま市らしい活動である。

③研修委員が主体となって行っている研修は、珍しく、貴重な取り組みである。

班	グループ名	具体的な活動案についての主な意見
1	めいすいくんグループ	・ 会合などで新聞や政治についての話し合いを持つようにする。 ・ 明推協山子(かかし)やヘリコプターなどを利用した啓発でアピールする。
2	梅	・ 乳幼児の保護者を対象に保健センターや社会福祉協議会で講演会などをする。 ・ 公民館、自治会を活用してもらいパンフレットやチラシを数多く発行するとともに、全市一斉で啓発活動を行う。
3	燦三会	・ 話し合い活動を多くして、口コミで周りの人に私たちの活動を伝えていく。 ・ 「サッカーの街」なので、サッカー選手と一緒に啓発活動をする。
4	初春	・ 成人式や区民まつりで活動するとともに、学校などで明推協活動のビデオを放映する。 ・ 5月の第1水曜日を「明るい選挙の日」として大々的にアピールする。(5月は英語でメイ「明」、水は明推協の「推」と音が同じなので)
5	未来	・ 学校で選挙や明推協についての学習時間を多くとり、子どもの頃から学んでいくようにしてもらいたい。 ・ 明推協の名前が分かりづらく選挙が入っていないので「選挙推進協議会」のような名前に変える。

④品川区では、公募の推進員が200名おり、話し合い活動を一人4回、年800回行っている。等の事例紹介やご助言をいただきました。

最後に市明推協松本会長から、今後、若者との話し合いの場を設けて幅広い活動を進めていきたいという挨拶があり、閉会となりました。

参加された皆さんには、今回話し合われたことや学ばれたことを今後の区や地域における活動で、是非活かしていただきたいと思います。



寄附禁止のルールを守って 明るい選挙を実現しましょう。

みんなで徹底しよう「三ない運動」!

政治家は有権者に寄附を **贈らない!**

有権者は政治家に寄附を **求めない!**

政治家から有権者への寄附は **受け取らない!**

西区明るい選挙推進協議会

私たち「西区明るい選挙推進協議会」のみならず各区の協議会は、例年になく多忙な年になりました。四月の統一地方選挙、七月には参議院選挙、八月には埼玉県知事選挙がありました。選挙時の啓発活動は毎回スーパー店頭にて行いました。配布物はともにも便利な「ウェットティッシュ」、若い人向けの「汗拭き用ウェットタオル」、小さな子供がいる家庭に喜ばれる「熱とり冷却シート」。手渡すとき、「貴方の一票をください」、「皆さんの心をください」、「力をください」と祈りをこめて配布しました。今年の夏の暑さと同じ熱いものが心の中をしめしました。

期日前投票所の立会いにも協力し、若い家族、若いカップルが投票に来るとしても力強く心の中が温かくなりました。十一月は雨の中で、「西区ふれあいまつり」にブースを設け、小学生、中学生の選挙啓発ポスターと選挙啓発標語を展示し、ハート型風船でアピールしました。昨年より華やかなブースを設けることができました。



ふれあいまつり風景

今、ワーキングプア、ネットカフェと若い人たちが安心して帰れる部屋、打ち込める仕事も少なく、格差の波が押し寄せる老後の生活等悩めることばかりです。これを少しでも改善するも区民の一票です。

私たち推進員は今後もこれまで以上に、多くの区民の方々に選挙に対する関心を身近に感じていただき、投票率の向上に努めていきたいと思えます。

推進員 坂本 環

北区明るい選挙推進協議会

四月の市議会議員及び県議会議員選挙に始まり、七月の参議院議員通常選挙、八月の県知事選挙と今年度は、まさに選挙の年でした。当協議会では有権者に対し選挙への関心と投票率を高める為に、従来の大型店舗周辺での啓発活動から、初めての試みとして朝の通勤時間帯に駅頭で行いました。参議院選に向けては七月十八日(水)に宮原駅(高崎線)で知事選に向けては八月十七日(金)に土呂駅(宇都宮線)で、朝の七時前後から約一時間の啓発活動を行いました。七時十五分頃までに駅を利用する人の中には声かけや啓発品配布の手渡しにも、「急いでいる時に迷惑な」と言わんばかりの顔をして足早に階段を駆け登っていく様子も見られましたが、七時半頃になると「ご苦勞様です」配布物も「ありがとうございます」と受け取って下さる人が増えて来て、今後また駅頭での啓発活動を行う場合の時間設定の参考になるという感想を受けました。

一方で、期日前投票もかなり定着してきて北区役所の投票所は比較的投票率が高いという事から、参議院選の行われている七月十六日(月)にテレビ埼玉から期日前投票所の様子の取材を受けニュース番組で放映されました。



参議院議員選挙「宮原駅頭啓発活動」

また、北区明るい選挙推進協議会の今後の活動等につきまして推進員の皆様にご意見を伺い、今後の新たな活動の参考にしたと思っています。

理事 小松 佳津江

大宮区明るい選挙推進協議会



統一地方選挙「大宮駅頭啓発活動」

本年度は、四月統一地方選挙、七月参議院議員通常選挙、八月県知事選挙と選挙が目白押しになりました。当協議会も大宮駅の東西口に立ち、啓発グッズを配布しながら有権者に投票の呼びかけを行うとともに、期日前投票の投票立会人や投票管理者として多数の推進員が協力いたしました。

また、九月には恒例の「選挙啓発ポスター」の審査があり、我々協議会委員は、区入選作品の選定及び市へ推薦する作品の選定作業を行いました。本年度は九十三点もの応募があり、描写の上手な作品、レイアウトや色彩の使い方が良い作品、標語が良い作品など、素晴らしい作品が数多く、選ぶのに一苦労でしたが、どの作品も家庭の中で選挙について話し合い、協力しながら作品を描きあげているということがひしひしと伝わり、「暮らしに身近な選挙」ということを強く感じました。

更に、十一月三日開催の「大宮区民ふれあいフェア」では、事前に3日間に渡り、多数の推進員が協力して準備を行った甲斐もあり、当協議会ブースで行った「めいすいくん」や「サンバイザー」の配布や「軍手で作る「めいすいくん」人形の制作会」などは、一番の人気ブースとして大盛況でした。

選挙の話題を残しながらの年明けとなりましたが、講師を迎えての政治講演会も、大盛況のうちに終えることができ、今後の啓発活動に役立てて行きたいと考えております。

広報委員 保栖 忠夫

見沼区明るい選挙推進協議会

「見沼区明るい選挙推進協議会」は、年数回開催されます理事会を中心に運営されております。

本年度は、選挙時啓発活動として4月の市議会議員・県議会議員選挙をかわきりに7月の参議院議員選挙及び8月の県知事選挙に係る投票立会人等の選出協力並びに各選挙につき、区選管及び区明推協の皆様との協働で、東大宮駅頭にて選挙啓発活動を行いました。

また、常時啓発活動として6月6日の推進員全体会の開催、区役所内ホールに啓発横断幕を掲出及び11月7日には推進員研修会を開催いたしました。

また11月10日には、区ふれあいフェアの会場にて選挙啓発品を配布いたしました。

本会が設立されて早や4年目を迎え、各地区自治会並びに区内諸団体から選出をいただきました150名を超える推進員の皆様と手を携えて、選挙管理委員会の皆様とも協働して、さらに啓発活動に邁進してまいります。

広報委員 金子 行甫



横断幕の掲出



東大宮駅頭での啓発活動

中央区明るい選挙推進協議会

平成19年度における中央区明るい選挙推進協議会の主な活動としては、4月、7月、8月に執行された各選挙において、与野本町駅周辺でさいたま市選挙キャラクター「みらいクン」とともに、投票参加を呼びかける街頭啓発活動を行いました。この活動にご協力をいただいた多くの推進員の皆様にご場をお借りして感謝を申し上げます。

また、11月には中央区区民まつりに参加し、昨年引き続き区内小学生から応募のあった「選挙啓発ポスター」の展示と「みらいクンぬり絵コーナー」の設置をしました。子どもたちやそのご家族の皆様で大盛況のブースとなり、幅広い世代へ有意義な啓発活動ができたものと思います。

2月には、昨年開催し好評であった「推進員研修会」を実施しました。

今後も、皆様のご協力を頂き、明るい選挙の実現、そして投票率の向上等の課題に取り組んでまいりたいと考えております。

会長 井原 祺子



「みらいクン」も大活躍の駅前街頭啓発



大人気の「みらいクンぬりえコーナー」

桜区明るい選挙推進協議会

今年度の桜区明るい選挙推進協議会の活動は、4月の統一地方選挙の啓発から始まりました。埼玉通りの家電量販店前の街頭啓発では、あいにくの雨模様でしたが、選挙管理委員会委員長や明推協のみなさんが、投票日の周知と投票参加を呼びかけました。

また、7、8月は猛暑の中、期日前投票所において投票管理者や投票立会人として務めていただきました。知事選はインスタンシップの埼玉大生と一緒に、西浦和駅前スーパー店頭で街頭啓発を行いました。埼玉大生も、推進員のみなさんが積極的に啓発される姿を見て、熱中症が心配されるなか、市選挙キャラクターの着ぐるみ「みらいクン」を着て頑張ってくださいました。

さらに、11月10日の区民ふれあいまつりの常時啓発と28日の政治講座にも大勢ご参加いただきました。政治講座の講師の菅田隆史氏から「政治を動かす言葉」と題して、「選挙において、言葉は投票である」とのお話をいただき、今後とも啓発活動を続けていく意を新たにいたしました。

来年度も明るい選挙の推進と投票率の向上をめざして、選挙啓発や常時啓発活動を行ってまいります。

会長 波田野 岩雄



政治講座 菅田さんのお話に聞き入りました



区民まつり みらいクン、コバトンと一緒に記念撮影

浦和区明るい選挙推進協議会

昨年度、組織改正を行いました。もともと「力強い」組織とするにはという観点から、平成19年度の総会で従来の規約を廃止して、新しい規約で再出発しました。

集団を強める方策は、「静」から「動」の組織替えて、行動実践の組織づくりとも言えます。その第1は、当面、年会費五百円を徴収、全額を地区推進運動の活動費に充当し、動けるような組織強化を考えております。

第2は、活動は末端の組織が主役で、先ず地区推進委員会の活動内容を特色化し、何か一つガッチリとやること、大切ではないかと考えます。

第3は、推進運動の仕方を「1対1運動」として「一人が一人を」という表現でやっております。推進委員は、この趣旨を広めて、仲間を増やしていくという地道な組織編成の仕事に基づきます。

お蔭様で、参議院・知事選挙とも浦和区の投票率は市内で第1位。明推協のあるべき姿をめざして、今後ともつたない歩みを、みなさんとともに続けたいと思っております。

副会長 岡田 唯文



研究集会風景



南区明るい選挙推進協議会

今年度は、春の統一地方選挙にはじまり、夏の参議院選挙、県知事選挙と3回の選挙が実施されました。

選挙のたびに、当協議会の推進員は投票立会人を、委員は期日前投票所の投票管理者を拜命しております。今回は選挙が続いたことに加え、南浦和駅市民の窓口で期日前投票所が増設されたことにより参加の機会が増え、中には連日勤務という方もおりました。こうして短期間にたくさんの方が必要になると、改めて協議会の役割の大きさを実感した次第です。皆さん猛暑の中を本当にご苦勞様でございます。

秋に入り、11月11日には毎年浦和競馬場で行われる「南区ふるさとふれあいフェア」において、選挙管理委員会の皆さんと一緒にガス風船やティッシュの配布を行いました。また、市選挙キャラクター「みらいクン」との写真撮影会は大盛況となり、用意したインスタントカメラのフィルムは瞬く間に品切れとなってしまいました。みらいクンの今後の活躍が大いに期待されます。

さて、今年度も終わりに近づき、当協議会では、推進員の改選が予定されておりますが、引き続き街頭啓発やイベントへの参加を通じて、明るい選挙の推進と投票率の向上をめざしてまいります。

広報委員 峯 光子



緑区明るい選挙推進協議会

私達の会が発足して早いもので、もう4年の月日が経とうとしています。この間、様々な活動に取り組んできましたが、特に力を注いできたのが、当会オリジナルの啓発用品の作成です。今回はこれを通して、この1年間の活動を振り返ってみたいと思います。

まず取り上げたいのが「手作り名刺入れ」(写真①)です。これは、牛乳の紙パックを再利用した地球にやさしい啓発用品で、中に私達の願いを込めたメッセージを挟んでいきます。今年度は新たに三室地区で期日前投票所が開設されたことから、その利用を勧める内容とし、投票所に近く、地元の方の利用が多い区内のスーパで配布しました。

続いて今年度新しく企画・作成した「ミニミニ千代紙バッグ」(写真②)を紹介します。これは、色とりどりの千代紙を使った手軽に作れる啓発用品で、手に取ってもらいやすいように中にアメを入れ、秋の区民まつりでの啓発に用意しました。あいにくの雨にもかかわらず、作り方を教えて欲しいといった声を数多く寄せていただきました。

これからも、これら啓発用品をより一層活用しながら、明るい選挙の実現に向けて頑張っていこうと思っております。会長 鈴木 利一



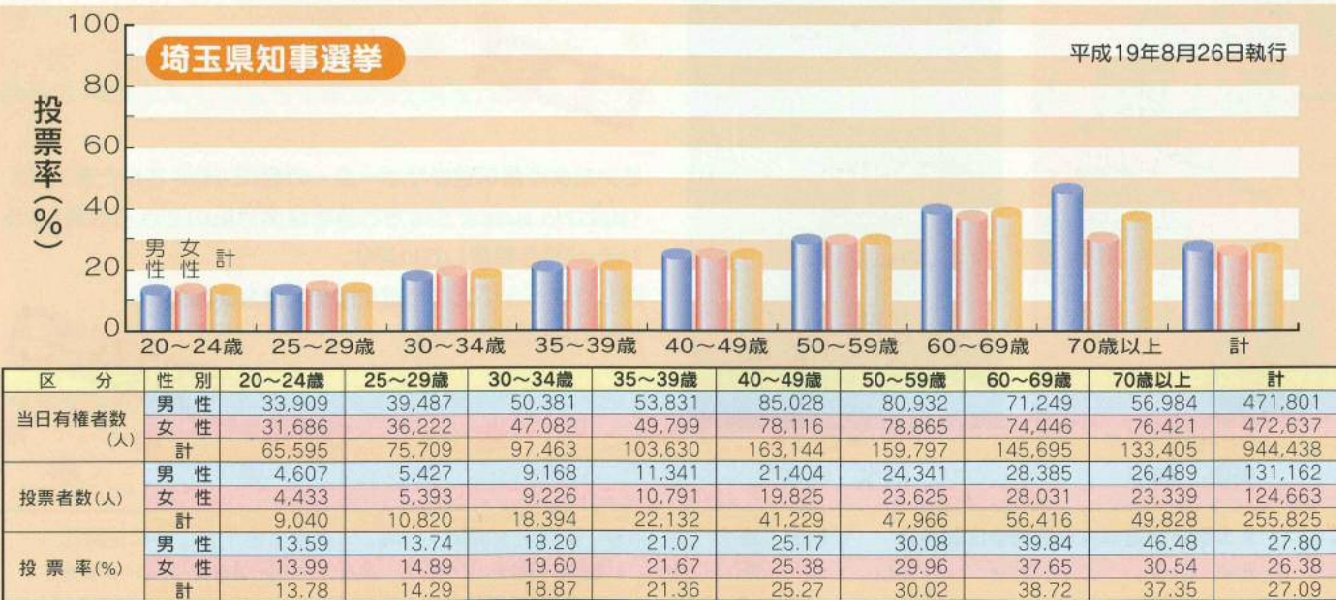
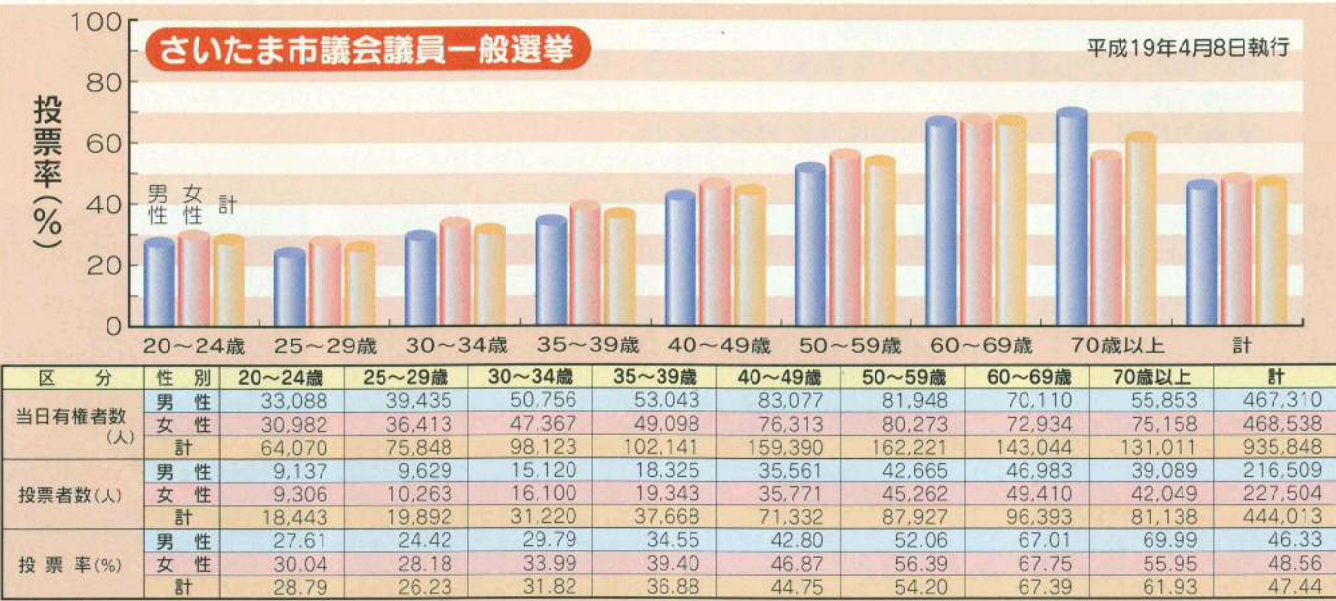
写真①



写真②

平成19年に行われた選挙のさいたま市における投票状況

さいたま市の年齢別投票状況は、各選挙とも、年代が上がるにつれ投票率は高くなり、60～69歳が最高で、若年層の20～24歳・25～29歳は低い傾向にあります。



岩槻区明るい選挙推進協議会



岩槻城址公園啓発活動

「岩槻区明るい選挙推進協議会」は、自治会等の団体から推薦いただいた10名の委員と新たに加入された24名の推進員により構成されており、設立から三年目を迎えました。

本年度は、統一地方選挙に始まり埼玉県知事選挙まで三回の選挙が行われたことから、区選挙管理委員会の皆様と協力して街頭啓発活動を実施いたしました。新たな試みとしては、「桜まつり」や夏の「岩槻まつり」といったイベント会場に赴いて、これまでの、駅前等で通勤通学の方を対象とした啓発活動とは違った活動も行いました。

また、常時啓発活動として、11月11日に岩槻文化公園で開催された「岩槻区民やまぶきまつり」におきまして、明るい選挙の推進と投票率の向上に向けて啓発活動を実施いたしました。

今後も、協議会組織のより一層の充実を進めて参りたいと考えております。

広報委員 相原 悦子

選挙豆知識

「さいたま市・区 明るい選挙推進協議会」について

Q 明るい選挙推進協議会は、どんな活動をしているのですか？

A 明るい選挙推進協議会は、①きれいな選挙、②積極的な投票参加を目指して啓発活動などを行っています。

Q 実際にどのような活動をしているのですか？

A 活動には、選挙の前に行う「選挙時啓発」と日常的に行っている「常時啓発」があります。

(1) 選挙時啓発

選挙時啓発には投票日の周知を図るため、各区の推進員が区内の駅頭やスーパーなどの街頭において、啓発活動を行っています。

(2) 常時啓発

日頃から生活と政治の関わり合いについて話し合ったり、政治や選挙に対する意識や関心を高める機会の場合として、イベントを活用した啓発、研修会・講演会の開催及び参加、機関誌の発行などを行っています。

Q どのような方が参加しているのですか？

A 自治会などのコミュニティ関係、民生委員などの社会福祉関係、PTAなどの社会教育関係をはじめ、協議会の活動趣旨に賛同した方々など多方面の分野から多くの方が参加しています。

Q さいたま市では、何名ぐらいの方が活動しているのですか？

A 平成19年10月1日現在、市と各区の協議会を合わせて939名が活動しています。

選挙クイズ

クイズに挑戦しよう!!皆様のご応募をお待ちしています。正解者には、抽選のうえ20名様に粗品を差し上げます。

Q1 平成19年7月29日執行の参議院議員通常選挙(埼玉県選出)で、さいたま市における20歳から24歳の投票率は、次のうちどれでしょうか？

- ① 35.52%
- ② 45.01%
- ③ 58.21%
- ④ 75.43%

Q2 政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることは禁止されていますが、政治家の寄附についての「三ない運動」のスローガンは次のうちどれでしょうか？

- ① 見ない! 言わない! 聞かない!
- ② 贈らない! 求めない! 受け取らない!
- ③ 行かない! 入れない! 考えない!

【応募方法】

はがきの裏面に次のことを記入し、

- ① Q1, Q2の答え(番号) ② 郵便番号 ③ 住所
- ④ 氏名 ⑤ 年齢
- ⑥ お読みになった感想又は選挙に対するご質問、ご意見等

はがきの表面に次のあて先を記入して応募してください。

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
さいたま市選挙管理委員会事務局
「選挙クイズ」係

【応募締切】 平成20年3月31日(当日消印有効)

* 当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。